



仲間とよく話し合い
自分で考えて
行動する。

根本会長は挨拶で農民連の組織
的前進に寄与された方々へ感謝を
述べました。東京電力の原発事故
による幾多の困難にも怯まず粘り
強い闘いの連続。誰かの指示を待
つのではなく、仲間とよく話し合
い自分で考えて行動する。困難の
打開が難しくても粘り強く闘って
いこうと呼びかけました。

過去最高の新規
就農者を迎える

4月3日、二本松市安達文化ホー
ルに全県から370名の会員が集い、
福島県農民連35周年記念式典が開
催されました。これまでの運動を振
り返り、希望ある日本の未来を農村
から作ろうと確かめ合いました。

来賓挨拶で福島県農業経営・就
農支援センター大波恒昭事務局長
は、当センターは新規就農者支援
の全国唯一のワンストップ組織と
して発足し、昨年は過去最高の新
規就農者を迎えている。農民連の
皆さんにも多くの局面で協力
いただいていますと、
感謝を述べられました。

希望ある日本の未来は農村から

福島県農民連35周年記念式典

生産者の皆さん、
これからも作り続けて

新日本婦人の会大阪府本部の杉本会
長は、1993年の冷夏に米パニック
が起こり「やっぱり食べたい日本のお
米」と声を上げ、運動の中で福島、石川、
大阪の農民連と出会った。原発事故が
起こり福島の米がとれない時もあつた
が、どんな問題でも何度も話し合い、
確認することで信頼関係を作ってきた。
「生産者のみなさん、ぜひこれからも作
り続けてください」とエールをいただ
きました。

全国の仲間と共に育ち
歩んで行こう

全国連長谷川敏郎会長は、これまで
の食と農、エネルギーの在り方を振り
返り、アグロエコロジーの方向で未来
世代に持続可能な地域社会を引き継い
でいくことが重要だ。福島でも新しい
挑戦が始まっている。全国の仲間と共
育ちで歩んで行こうと挨拶されました。



35周年記念式典で視聴した
動画をご覧ください。

式典の第一部では35年間の運動の記
録と、未来への展望を描いた動画を視
聴しました。第二部では参加者全員の
合唱やコメディアンの松元ヒロさんの
講演で、今の政治への不満を笑いに変
え、吹き飛ばし、これからの農民運動
と農作業への力をいただきました。式
典終了後は各単組が地元で懇親会を開
催し、大いに盛り上がりしました。

政治への不満を笑いに
変え、吹き飛ばそう！



宗像副会長の飾った花木が
ステージを華やかに。

会長挨拶では農民連発足当時から組織前進に
尽力した皆さんへの感謝が述べられた。



ギターの生演奏で参加者全員で
「愛は花、君はその種子」を合唱。



南会津農民連の皆さん



県南農民組合の皆さん



会津農民連の皆さん



県北農民連の皆さん



郡山地方農民連の皆さん



浜通り農民連の皆さん



安達地方農民連の皆さん

農民連フラッシュ flash

消費税減税、
インボイス中止学習会

4月20日、消費税をなくす福島県の会は福島県
男女共生センターで、消費税減税・インボイス
中止の学習会を開催。50名余りが参加しまし
た。衆議院議員の田村貴昭氏を講師に消費税が
法人税減税の穴埋めにされていたことや日本は
世界第3位の軍事大国になるなどが話され、ま
た「食料・農業・農村基本法」の改悪や裏金問
題の本質に深く切り込みました。



能登半島地震支援で米届ける

能登半島地震支援に米の提供を会員に
訴えたところ、全県から100袋を超え
る米が提供され、4月18.19日に羽昨
市と珠洲市へ届け大変喜ばれました。
能登半島北部はまだ道路の断絶や断
水、住宅の片付けも進まない状況が続
いています。大阪万博や軍事費へ向け
る予算を能登支援に使うべきです。



オンラインストア商品紹介

福島県会津産小麦100%
そうめん

6月上旬頃からの
販売です。

名峰「磐梯山」を望む会津地方の豊かな大地が
育んだ小麦粉を使い農家の思いを込めて丁寧に
作ったそうめんです。豊かなコシとつるつるし
た食感をどうぞお楽しみください。
福島県会津産小麦の良質な部分のみを丁寧に
製粉した小麦を100%使用しています。



こちらの
QRから

